



iOS



Android

-----RS\_Cameraのあらすじ-----

- a) FTPサーバーを設定する。
- b) 院内の無線LAN環境に、スマートフォンを接続する。
- c) RS\_Cameraをスマホでダウンロード、インストールする。
- d) RS\_Cameraで、FTPのサーバーIPを指定する。
- e) RS\_Cameraで撮影し、送信すると、gazouホルダーに  
RS\_Base自動読み込みファイル名で出力される。
- f) 検査名を 患者写真RS とすると、RS\_Baseのリロードで、スナップ写真として読み込まれる。
- g) 往診先で、RS\_Cameraで撮影し、医院に帰ってから、送信が出来る。
- h) 院内では、パスワードなどを外した、撮影専用のスマホを用意した方が使いやすい。
- 8) 対応OS : Android 5 以降。 iOS 9 以降。

## -----FTPサーバーを設定する-----

画像を送信したいパソコンに、FTPサーバーを設定する

[http://rsbase.net/FTP\\_RSB/FTP.pdf](http://rsbase.net/FTP_RSB/FTP.pdf)

注) スマホとFTPのサーバーPCが、同一の無線LANでつながっている必要があります。

## -----RS\_Cameraを使用するための初期設定-----

### 1) 【RS\_Camera】 トップ画面

右上の歯車マークで、各種設定画面へ。



## 1) 【RS\_Camera】 各種設定画面

FTP設定 をクリックして、FTPサーバーを指定する。



### 3) 【RS\_Camera】FTP設定画面

FTPのホストを指定し、FTPの場合は、Portは

21、FTPSの場合は、Portは990

ユーザー名、パスワードは空欄

設定後、接続ボタンを押して、接続されるか確認

Host ftp://192.168.1.6

Port 21

User

Password

FTPSの利用 ☐

接続

以上で、接続に成功すれば、初期設定完了

## -----実際の撮影の操作方法-----

### 1) 【RS\_Camera】 トップ画面

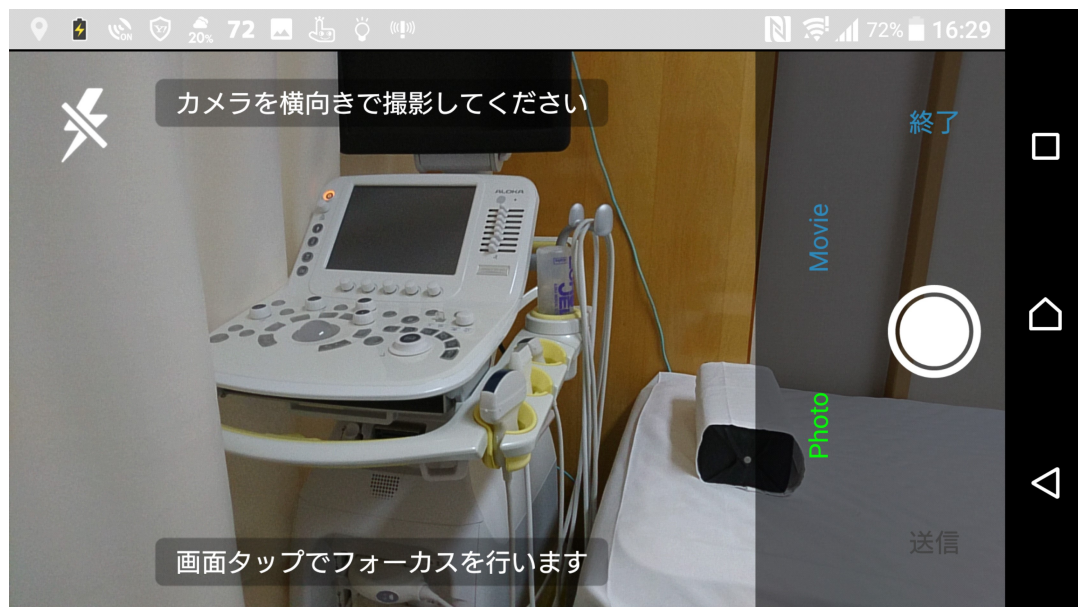
RS\_Camera 初期画面：IDを入力し、検査名を指定し、カメラボタンを押す。



IDを入力しないと、RS\_Baseには自動ファイリングされない通常の画像ファイルになるので、手動ファイリング用です。

## 2) 【RS\_Camera】撮影画面

RS\_Camera 初期画面：撮影ボタンを押して(複数枚可)、送信をタッチ（Android版は、フォーカスは、画面タッチになります）。フラッシュは、左上の雷アイコンで、オン、オフ。撮影は横専用



往診先などで、撮影のみを行う場合は、RS\_Cameraで撮影後、終了をタッチ。

## 3) RS\_Cameraアルバム内の写真を送信

RS\_Camera で撮影した画像を、アルバムから送信する場合は、トップ画面のアルバムをタッチすると、下記画面（アプリ撮影）になり、送信する画像を選択し、送信ボタンを押す。



#### 4) RS\_Camera以外で撮影した画像を送信する

アルバムをクリック後、アプリ未撮影をタッチすると、カメラアプリで撮影したリストが表示されますので、選択して送信します。（ファイル名は、RS\_Cameraの初期画面の検査名、日付の情報が参照されます。）



#### 5) 撮影画像の削除

RS\_Cameraのアルバム、カメラロールへを選択し、通常のスマホの機能にて削除してください。

## 【RS\_Base側の設定】

基本情報、

### 45(B) ファイリング時、RS\_Cameraの画像横サイズ変更

の指定にて、RS\_Cameraからの画像の幅を指定できます。（撮影された時の画像は、スマホの最大画像サイズになります。）

45(B) 強圧縮をする(50が最強圧縮(1/10程度)⇒画質低下) で、圧縮率を上げて、さらにファイルサイズを小さくする事ができます。

### 45(B) RS\_Cameraの16：9の縦横比画像を4：3に両側カットする。

をYes を指定すると、ファイリング時、16：9などの横長い画像の両側をカットし、4：3サイズの画像にしてファイリングします。

## 【RS\_Baseへのファイリング方法】

A) RS\_Cameraからgazou ホルダーに送信された画像のファイリングは、RS\_Baseの受付がリロードするとファイリングされます（設定による 後述）。

B) すぐにファイリングしたい場合は、RS\_Base患者画面

のside\_show の **自動F** をクリックすると、“IDがあるものは、そのID患者に”、“IDがないものは、現在開いている患者の画像



データとして” ファイリングされます。

RS\_Camera撮影時、検査名が、“患者写真RS”の場合は、その画像はRS\_Baseのスナップ写真として、その他は、RS\_Baseの検査歴に画像としてファイリングされます。

### 【RS\_Baseの受付でRS\_Cameraのファイルを読み込む】

基本情報、(93) BOX受付:自動読込ファイル読込 の設定

- ・ **no + 自動F**：受付ではファイリングはせず、自動Fのリンクを機能させる（既定）
- ・ **RS\_Camera**：RS\_Cameraからのファイルだけを受付にて自動ファイリング。自動F のリンクはグレイアウトさせ使えない
- ・ **RS\_Camera+ 自動F**：RS\_Cameraからのファイルだけを受付にて自動ファイリング。自動F のリンクは機能させる。
- ・ **yes**：RS\_Cameraからのファイルだけでなく、一般的な自動読み込みファイルも受付のリロードにてファイリングさせる。自動Fのリンクはグレイアウト
- ・ **yes + 自動F**：RS\_Cameraからのファイルだけでなく、一般的な自動読み込みファイルも受付のリロードにてファイリングさせ

る。自動Fのリンクも機能させる。

注) RS\_Cameraからの患者スナップ写真に関しては、自動F をクリックするよりは患者画面をリロードした方が、数秒早いです。

私はどうするかですが、PosgreSQL 版を使用していますので、データベースが壊れることもなかろうかと yes + 自動F を選択。

(職員が知らぬ間に、インフルエンザ判定の写真を撮っているの  
で

自動でないと、ファイリングされないため)

尚、RS\_Auto などが動作している端末では、安全のため、受付にて

自動でファイリングしない方がいいと思います。